



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hoyukai.org/>

第157号

発行:2019年5月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会



新元号「令和」に寄せて

湘南泉病院 事務部長 松田 隆

今年度は、早々に新しい元号での幕開けとなりました。語源は万葉集の句からとったそうですが、安倍首相の解説が分かりやすかったので転記させていただきます。

「人が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つこの中で、厳しい寒さの後、春の訪れをつげるように見事に咲き誇る梅の花の情景が美しく描かれているところが一人一人の日本人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたいという思いを込め、令和に決定しました。」「また、若者にとって希望に満ち溢れた日本を作っていきたいという意味もあります。」今から1200年以上前に作られたこの句が現代に復活して元号に込められた意図には、私の座右の銘とする言葉にリンクするものがありました。

「また若者にとって……意味もあります。」の部分です。それは、皆さんもよく知っているユニクロの創業者であり現社長でもある柳井氏の言葉です。「やってみないとわからない。失敗したことは失敗ではない。その方法が間違っているという証明が出来たので成功だ。だから失敗を恐れてはいけない。失敗にこそ成功の芽は潜んでいる。人生でいちばん悔いが残るのは挑戦しなかったこと。新しい可能性に挑んで、失敗したことはありません。泳げない者は溺ればよい。(常識の範囲内で)最初からできる人は少数派で、『できる』と言われる人の多くは、できる人に自らを変えていったんだと思います。」という言葉が出てきます。私のことを知っている人には意外と映るかも

しませんが、こう見えて私は落ち込んだりマイナス思考な考えが脳裏を駆け巡り、行動することで初めて見ることができる景色が、そこにはある事はわかっているつもりでもリスクとの天秤をかけ怖くて見れない事があるのもまた事実です。この原稿が皆様の目に触れるころには、令和生まれの子供たちがたくさん誕生していることでしょう。子供たちが夢をもってそしてチャレンジできる日本をつくるのが、私達大人の責務ではないでしょうか、無論大人もチャレンジ精神を持ち続けるのも忘れてはならないと思います。

さて今年度(令和元年)は、10月には、消費税が2%上がり10%となります。医療は消費税がかからぬため病院持ち出しとなります。(多少の改定はあります)一方で病院側が購入している医療材料や医療機器、食材等です。しかし消費税は、福祉税です。国民皆保険を維持する為には増税という言葉は、決して聞こえがいいものではありません。しかし何でも反対では、これもまた若者にとって希望に満ち溢れた日本を作ることはできません。また来年には、団塊の世代が、高齢者医療となる2025年問題を見据えて2012年からすすめられてきた社会保障・税の一体化改革が、終了して最終段階での診療報酬改定があります。元号も変わり日本という国の根幹である社会保障を維持出来る素晴らしい政策であったと後世に誇れる事を期待したいと思います。平成は、戦争こそありませんでしたが、自然災害で多くの方の命が奪われました。令和時代が良い時代となりますように

電子カルテ・80列マルチスライスCT導入 湘南泉病院

平成31年4月、湘南泉病院はオーダーリングシステムから電子カルテに移行しました。オーダーリングシステムとは簡単に言うと「検査やリハビリ、レントゲンなどの医師の指示をパソコンに入力でき、そのデータが関連部署に届くことにより内容を知らせることができる」仕組みのことです。例えば、何らかの病気で病院へ行くと、医師の診察の他にも薬をもらったり、採血をされたり、処置を受けたり、レントゲンをとってもらったりします。これらは、薬剤師や検査技師や、看護師や放射線技師などが、医師の指示を受けて行います。そのため、医師と関連部署との間では何らかのやりとりが必要で、昔は「紙」に書いて関連部署に運んでいました。これに比べてオーダーリングシステム導入後は、「紙」がなくなり、パソコン上で指示を出したり確認することができるようになりました。

当院ではさらに、オーダーリングシステムよりも上の電子カルテを導入しました。電子カルテは、看護指示や処置等も含め、オーダーリングシステム上での指示すべてと紙カルテに記載・貼付けしていた情報を電子的に保存するシステムです。これにより、患者さんに関するすべての情報を電子カルテ上で把握できるようになり、診療が効率化されました。また、患者さんの医療情報を、あらゆる部門のすべての端末からいつでも参照することが可能となり、チーム医療の実践につながっています。その他にはカルテの記載が正確となり統一されることにより、医療情報が正確に伝達されるため、医療安全が促進されます。他にもカルテの整理や保管が減ったり、診療情報を蓄積できたりと、メリットは多々あります。しかし、導入直後のため、新しいシステムに慣れていなく、一時的に受付や診療、会計などで時間を要しましたことはお詫びいたします。

患者さまにも職員にも安全で快適な病院であるよう、電子カルテという道具をうまく操っていきたいと思います。



電子カルテの他に、長年使用していました16列マルチスライスCTを高性能な80列マルチスライスCTに入れ替えました。80列になったことにより、細かく広範囲を短時間で撮影できるようになり、画像の精度が向上しました。

